

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(主)安曇野インター堀金線		
事業毎の通番		7	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	小瀬幅(こせはば)	
事業概要	事業目的	当路線は松本市西部と安曇野市東部を結ぶ重要な路線だが、谷地形のため線形が悪く危険であるため、交通事故が多発しており、平成19年には2件連続して死亡事故が発生している。このため、道路改築事業により道路線形を改良し、安全で円滑な交通の確保を図るものである。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
	関連する事業、計画等	県総合5か年計画 安曇野市道路整備推進事業計画					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:11,613台/日					
	着手年度	平成29年度	事業期間	4年間			
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.9			
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=200.0m、W=6.0(9.75)m (うち橋梁 L=42.5m)		事業費(千円)	国庫	270,000	30,000
	年度事業内容(主な工種)	2号橋A1橋台ブロック積工 簡易吹付法枠		45,000		40,500	4,500
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	災害に強い道路				
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画自動車交通量 : 11,613台/日</li> <li>○代替道路の有無 : 代替道路がない</li> <li>○交通結節点アクセス : 安曇野インターへのアクセス道路(1次)</li> <li>○生活支援・観光振興 : 日本赤十字(安曇野)へのアクセス道路(2次)</li> </ul>			評価	A	
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合 : 県総合5か年計画、市道路整備推進計画</li> <li>○緊急輸送路の路線指定 : 安曇野市緊急輸送路</li> <li>○地域指定 : 積雪地域に指定(旧豊科町)</li> </ul>			評価	B	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果(B/C) : B/C=2.91</li> <li>○事業期間 : 4年間(H29~H32)</li> <li>○工法等の比較検討 : 橋梁形式の比較検討を実施</li> <li>○他事業との連携 : なし</li> </ul>			評価	B	
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数 : 1件(H26、車両相互)</li> <li>○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 通勤渋滞の緩和</li> <li>○歩道整備 : 既設歩道 W=1.0m</li> <li>○現況の幅員、半径、勾配 : 現況幅員 W=6.0m</li> </ul>			評価	B	
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有 : H23.2に住民説明会、H26.4に地権者説明会を実施している</li> <li>○地域の取り組み : 事業に対して協力が得られている</li> <li>○地域の合意形成 : H26.4の地権者説明会で合意が得られている</li> <li>○住民との協働 : なし</li> </ul>			評価	B	
	部意見	事業の必要性が高いため、平成29年度から事業化した。	行政改革課意見	現道は線形不良で、過去に死亡事故も発生するなど円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が認められる。	評価結果	○	総合評価

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	<div data-bbox="1187 135 1635 478"> <p>位置図</p> </div> <div data-bbox="1668 135 2150 478"> <p>平面図</p> </div>
	【整備の必要性がわかる状況写真等】	<div data-bbox="1187 582 1635 901"> <p>道路線形</p> </div> <div data-bbox="1668 582 2150 901"> <p>構造図、完成予想図等</p> </div>
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	安曇野インター堀金線は、塩尻鍋割穂高線から国道143号を結ぶ安曇野市道路整備推進事業計画の東西幹線に位置付けられた道路であり、長野県は積極的に整備を進めている。本事業区間は、国道19号と国道143号を結ぶ区間の一部で松本市と安曇野市を結び通勤車両が多数走行する区間である。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、安曇野市と松本市を結び通勤車両が多く、通勤・帰宅時間帯に自動車の渋滞が発生している。また、付近に小学校があることから、歩行者の保護が求められている。このため、通勤・帰宅時間帯の渋滞解消や、歩行者の安全な歩行空間の確保を要望されている。
	③事業説明等の経緯	H23.2に住民説明会、H26.4に地権者説明会を実施している。当該区間の前後は線形・視距共に良好であるため、当該区間の改良が望まれている。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	安曇野市道路整備推進事業計画では当該区間の整備が位置づけられている。
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地形変化が最小限となるよう計画している。
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、高家産業団地の活性化が見込まれる。
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 137° 56' 43" 33 東経:E 36° 18' 35" 99